

調査相談(レファレンス)事例紹介 16



Question

内村鑑三の碑が高崎市の頼政(よりまさ)神社境内にあると聞きました。
なぜこの神社の境内にあるのですか？



Answer

内村鑑三(1861-1930)は、キリスト教思想家であり、『代表的日本人』など多くの有名な著書の作者でもあります。内村鑑三は無教会主義とはいえキリスト教徒なので、日本の神社に碑があるのは不思議に思いますよね。

高崎公園の南方にある頼政神社は、高崎城主だった大河内輝貞が1718(享保3)年に、大河内家の先祖である源頼政をまつるためにつくったものです。内村鑑三の家系は、この大河内氏に仕えた家系でした。特に鑑三の父・宣之は藩の御側頭取などをつとめ、明治維新においても功績のある人物だったそうです。こうした縁から、鑑三の碑は頼政神社に建てられました。境内の中でも烏川を臨む位置に碑があります。それは高崎藩士の子どものとして生まれた鑑三が、少年時代に烏川で魚とりなどをして遊んだ思い出から、札幌農学校で水産学を専攻したことに因んでいるそうです。

碑は、1961(昭和36)年に内村鑑三生誕百年の記念事業として建てられました。正面には「上州人」と題した詩が彫られています。この詩は鑑三の死の一ヶ月前に見舞いに訪れた親友・住谷天来(群馬県出身の宗教家)へ鑑三が贈ったもので、上州人気質を表現したものとも、自らのことを詠んだものとも言われています。詩の本文は「上州無智亦無才 剛毅木訥 易被欺 唯以正直接万人 至誠依神期勝利」。意味は、「上州人は知恵がなく また才能もない。意志が強く 飾り気なく無口だが だまされやすい ただひたすら正直さを持っていろいろな人に接する (だから) 真心を尽くすだけ尽し 神の加護で勝利を望む」(参考文献③より抜粋)とのことですよ。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① 高崎市史 第二巻	高崎市史編さん委員会／編	高崎市	1970	00424960
② 群馬県の歴史散歩	群馬文化の会／著	山川出版社	1976	00956136
③ 実録たかさき	上毛新聞社出版局／編	高崎市役所	1981	00425066
④ 群馬学とは	手島仁／著	朝日印刷工業	2010	12052700
⑤ 内村鑑三著作集 第21巻	内村鑑三／著	岩波書店	1955	02470268
⑥ 聖書の日本 495号		聖書の日本社	1978	

⑥は当館所蔵なし。国立国会図書館デジタルコレクションにて閲覧可能

今回ご紹介した他にも調査相談(レファレンス)事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ>調査相談>調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008